

ごあいさつ

第2回 岩手県 大槌町の写真展 IN ドリームハイツ

関 義武

松本 和子

第2回目の写真展にお出でいただき ありがとうございます。

今回も 岩手県 大槌町からの写真です。

個性の違う お二人の写真をお借りすることが 出来、 たまたま 同じ時期に ご披露することになりました。 二人展という企画ではありません。

伊藤さん 西館さんともにアマチュアのカメラマンです。 カメラマンというよりはたまたま写真を撮っていた 大槌の人です。

伊藤さんは「がんばっぺし大槌」と題して ここに展示した 写真を 全国各地で展示されています。

西館さんは 去年 大槌からの研修でドリームハイツにきていただき 写真があるので 見てほしいとの話があり 2月の原宿ケアプラザに続いてのドリームハイツでの展示です。

伊藤さんの作品は、震災の様子 生々しく 伝える かなり衝撃的内容になっています。

西館さんの作品は、「ふるさと大槌 & 美しい大槌」という視点で ふるさとの風景を中心に その美しい大槌のすがたと 被災後の様子を見せてくれています。

お二人の作品を同時に見ていただくことで 大槌のいま 昔を感じていただけられるでしょうか？

震災後 2年がすぎました ドリームハイツの皆様には 忘れないで 風化させないでと訴えたいのですが、忘れない 風化させないというのは 遠くにいるこっちの人の言い分です。もちろん忘れないでほしいのですが、現地の方々にとっては 震災は 忘れるとか 風化とか 自分の所から 出来事が遠ざかっていくことはありえないことであり いまもそのときのことを 振り返りながら 現実に帰ってこない肉親 友人を待っているのが実情です。簡単に忘れない 風化させないと言ってほしくないと思っっているのが 本音だと思います。これからも大槌の皆様に 思いを寄せる 支援をする ということが続けて行きたいと思っいます。今回はたまたま 大槌ですが 岩手 宮城 福島の皆様へそれぞれが 出来ること 祈ること 忘れないこと をドリームハイツの皆様も続けていただければ幸いです。